



ナゴヤドームをピンクに染めて乳がんの早期発見を啓発 ピンクリボン in チアドラデー

乳がんは、女性に多いがん第1位。女性の11人に1人が乳がんにかかると言われています。しかし、早期発見と早期治療で、治る確率が高いがんでもあります。中日スポーツでは、改めて乳がん検診と早期発見の大切さを啓発するため、「ピンクリボン in チアドラデー」を実施いたしました。

チアドラデーの9月9日の中日ドラゴンズ×広島東洋カープ戦にて、来場者30,000人へ乳がんの啓発記事が掲載されたチアドラデー特別応援シートを配布。チアドラが踊る5回裏と7回表終了後に、一斉に掲げて会場をピンク色に染めました。試合終了後、来場者からは、「今まで検診できていなかった。改めて検診の大切さを感じた」「家に帰って、今日の話愛する妻へ伝えたい」などといった声が聞けました。

その模様を10月1日のピンクリボンデーに中日スポーツに掲載。さらに多くの読者へ乳がんについて伝えていきます。

この取り組みがきっかけで乳がん検診を受ける人が一人でも多くなるよう心から祈っています。紙面には自己触診についても載っているので、月一回のセルフチェックも忘れずに☆

名古屋本社 広告開発部 橋本真実

■当日の来場者に配布された「特別応援シート」



30,000部を配布！

当日の「来場者の声」

■ 球場で行われている啓発活動は初めて見ました。子どもが小さいので、とても大切なことだと思っています。(32歳・女性)

■ あまり詳しい内容を知らなかったので、興味を持つきっかけになりました。娘や息子の嫁にも、知ってほしいと思います。(51歳・女性)

半分に折って掲げて



ナゴヤドームがピンクに！！



中日ドラゴンズキャラクター「ドラ」のブログでも紹介



■ 載録 (2017年10月1日付 中日スポーツ)